

# 地域安全学会 2014年度第6回理事会 議事録

日 時：2015年3月28日（土） 14：30～17：00

場 所：同志社大学東京オフィス（東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階）

出席者：立木茂雄、糸井川栄一、目黒 公郎、池田 浩敬、市古 太郎、梅本 通孝、大西 一嘉、  
大原 美保、柄谷 友香、越村 俊一、重川希志依、田中 聡、西川 智、能島 暢呂、  
松岡 昌志、秦 康範、矢代 晴実

委任状：岡田 成幸、鎌田 泰子、庄司 学、牧 紀男、宮野 道雄、村尾 修、村上 ひとみ、  
森 伸一郎、

欠 席：岩田 孝仁、清野 純史、山崎文雄、加藤 孝明、井野 盛夫

事務局：竹本 加良子、上木 美貴恵

配布資料：26-6-1 2014年度第6回理事会議事次第（立木）  
26-6-2 2014年度第5回理事会議事録（案）（立木）  
26-6-3 日本学術会議の回答（宮野）  
26-6-4 2015年度地域安全学会役員（案）（立木）  
26-6-5 2015年度地域安全学会役員選挙候補者名簿（案）（立木）  
26-6-6 研究運営委員会理事会報告（能島）  
26-6-7 NL91号目次案（秦）  
26-6-8 2015年度地域安全学会総会資料（立木）  
26-6-9-1 会員数、会費納入状況（上木）  
26-6-9-2 2年間の滞納者一覧（上木）  
26-6-10 地域安全学会春季大会（伊豆大島）参加についてのメモ

議題：

## 1. 前回議事録の確認（立木）

資料26-6-2の第5回理事会議事録（案）について、下記1点の修正点以外は、原案通り承認された。

- ・3ページ目 電子ジャーナルNo.26の一次審査の結果の決定日を  
3月21日→3月28日に修正

## 2. 会計・会勢・会員管理関係（上木）

### （1）会員数、未納者数の報告

2015/3/27(金)時点での2014年度の会員数・会費納入状況は以下の通りである。

会員種別	会員数		内、今年 度新規会 員数	会費納入者数		会費未 納者数	未納の 割合
	合計	1/20 時点 からの増減		合計	1/20 時点 からの増減		
賛助会員 (※)	1	0	1	1	0	0	0.0%
正会員	596	-1	38	467	+3	127	21.3%
学生会員	109	0	36	63	0	46	42.2%
総数	706	-1	75	531	+3	173	24.5%
割合	100.0%			75.2%	+0.5%	24.5%	

※5/30 に株式会社パスコ様が賛助会員としてご入会

#### 【回収済会費】

賛助会員（10万円）×1社+正会員（5,000円）×467人+学生会員（2,000円）×63人=2,561,000円

#### 【未収会費】

賛助会員（10万円）×0社+正会員（5,000円）×127人+学生会員（2,000円）×46人=727,000円

### （2）2年間滞納者について

2015/3/27(金)時点で会費を2年間滞納している者は、正会員で71名、学生会員28名だった。このうち正会員21名については、理事から直接、会費の納入について依頼することとなった。

春季大会時点で2年間滞納している会員を退会者リストとして提示し、総会にて退会の承認をいただく。

### （3）会費の変更のお知らせについて

会費の変更について、会員には下記2つの方法でお知らせをする。

①4/1 にメールにて「今年度の会費納入のお願い」と「会費の変更」をお知らせする。

②「総会のご案内」と「委任状」送付の際に、「会費の変更」も同封する。

## 3. 学術委員会関係（田中）

### （1）電子ジャーナル No.25

3月26日に論文5編を電子ジャーナルとしてWeb上で公開した。

### （2）電子ジャーナル No.26

投稿論文9編について、3月28日に一次審査を実施した。応募のあった論文のうち7編が二次審査に進むこととなった。

今後は、5月8日修正論文の締め切り、6月6日に二次審査実施、8月5日に電子ジャーナル公開、を予定している。

(3) 研究発表会論文 No. 27

4月1日に電子投稿の募集を開始し、11月14日に発表予定である。

(4) 2014年度の論文賞、年間優秀論文賞について

3月28日に2014年度の論文賞、年間優秀論文賞の審査を行った。

2014年度の論文賞は該当なしとなった。

2014年度の年間優秀論文賞は下記の2偏が選定された。

- ・井若 和久 様 「持続の危ぶまれる地域での住民主体による事前復興まちづくり計画の立案初動期の課題と対策」(地域安全学会論文集 No. 22 に掲載)
- ・藤岡 正樹 様 「防犯カメラ映像を用いた大規模集客施設での地震時の人間行動分析—震度と人間行動の対応—」(地域安全学会論文集 No. 24 に掲載)

(5) 論文の投稿規定について

投稿規定の主に下記の事項について、2015年度中に学術委員会にて見直しを図る。

- ・誰が著者になるのか
- ・二重投稿の防止策について
- ・研究倫理の問題について (特に研究対象が人の場合)

4. 表彰委員会関係 (大西代理 池田)

3月28日に2014年度技術賞の審査を行った。応募が2件あったが、どちらも過半数を得られなかったため、技術省は該当なしとなった。

5. 2015年度役員について (立木)

資料 26-6-4、26-6-5 として、2015年度地域安全学会役員(案)と役員選挙候補者名簿(案)が提示され、原案通り承認された。

6. 3人目の監事選出について (立木)

(1) 現体制について

重川理事に3人目の監事をお引き受けくださるよう議事が出され、承認された。

(2) 2016年度以降の体制について

2015年度で井野監事の任期が終了するため、候補者の選定が必要となった。理事会では、岩田様、守様の2名が候補者として挙げられたが、継続して2015年度中に候補者を探すこととなった。

<幹事候補者の条件>

- ・理事会に参加できる方
- ・理事経験は問わない
- ・総会のこと、会計監査のことが分かる方

## 7. 広報委員会関係（秦）

資料 26-6-7 を基にニューズレターNo. 91 の掲載項目と原稿作成担当者の確認を行い、下記の点が変更になった。

- ・「1. 2015 年度地域安全学会大会（総会・研究発表会（春季）のご案内）」の原稿作成担当「総会・春季研究発表会実行委員会」→「総会・春季研究発表会実行事務局長」に修正
- ・「2. 地域安全学会研究発表会（春季）「優秀発表賞」募集のお知らせ」の原稿作成担当者：大西理事
- ・「3. 第 37 回（2015 年度）研究発表会（秋季）査読論文の募集と投稿方法」の原稿作成担当者：牧理事
- ・「5. 2014 年度地域安全学会技術賞審査報告」の原稿作成担当者：大西理事

## 8. 2015 年度総会・春季研究発表会（市古）

### （1）2015 年度総会・春季研究発表会の準備状況についての報告

資料 26-6-10 を基に、宿泊予約、伊豆大島へのアクセス方法、大会プログラム、当日までのスケジュール について報告があった。

### （2）論文奨励賞、年間優秀論文賞について

論文奨励賞、年間優秀論文賞の受賞者 3 名分の旅費については、受賞者が旅費を辞退しない限り学会が負担することとする。

賞状は事務局が用意する。

メダルは表彰委員会が発注済みである。

### （3）梗概集について

梗概集が売り切れるため、冊子とは別に DVD のみも作成する。ただし、DVD のみの販売は、冊子が完売した後からの対応とする。

## 9. 国際交流委員会（立木）

国連防災世界会議のパブリックフォーラムの一つとして3月18日（水）の13:30 より、に「アジア太平洋地域の防災・減災の研究・実務者ワークショップ」を韓国防災学会、台湾危機管理学会、地域安全学会で共同開催した。

目黒理事からパブリックフォーラムの様子を、西川理事から本体会議の様子をお話いただいた。

ニューズレターに国連防災世界会議及びパブリックフォーラムの報告を掲載することとなり、原稿作成を西川理事にご担当いただくこととなった。

## 10. 研究運営委員会関係（能島）

### （1）研究小委員会の 2015 年度の募集について

牧理事が主査を務める「社会に役立つ防災情報システム研究小委員会」については、予算措置のない研究小委員会として申請書が提出され、2015 年度も継続して活動することとなった。

3月20日を締め切りとして2015年度の新規の追加募集をかけたが応募は無かった。

### （2）研究小委員会の 2014 年度の活動報告

下記3つの研究小委員会について、2014年度の活動報告と2015年度の活動予定について報告があった。

- ・被災地生活支援のための循環型非常食の考案と事例紹介に関する小委員会  
主査：守茂昭（一般財団法人都市防災研究所）
- ・世界の復興計画比較研究小委員会  
主査：大西一嘉（神戸大学）
- ・社会に役立つ防災情報システム研究小委員会  
主査：牧紀男（京都大学）

## 11. 2015 年度総会資料（案）（立木）

資料 26-6-8 の総会資料（案）を基に内容の確認を行い、未作成部分については下記の通り原稿作成の担当者を決めた。

大項目	小項目	原稿作成担当者
1. 2014 年度事業報告	（6）地域安全学会論文賞・論文奨励賞・年間優秀論文賞の選出	田中理事
	（11）企画研究小委員会研究活動	能島理事
	（14）防災学協会連合組織への参加	糸井川理事
	（15）シンポジウム等の共催・参加	矢代理事
	（17）会員数および年会費納入（2015年3月末）	事務局
2. 2014 年度決算	—	事務局
3. 退会会員の承認	—	事務局
5. 2015 年度事業計画	（3）東日本大震災連続ワークショップ 2015in ** の開催	糸井川理事
	（5）地域安全学会論文集・梗概集の刊行	松岡理事
	（9）国際学术交流	西川理事
6. 2015 年度予算	—	事務局

## 12 その他

2016年度に地域安全学会が設立30周年を迎える。そのため、2015年度は設立30周年に向けて、予算をつけ、タスクフォースを立ちあげて取り組むこと、また、事業計画に盛り込むことが提案され、理事会にて承認された。

次回：5月29日（金）春季大会会場にて（伊豆大島）

代表理事

立木 茂雄



監 事

山崎 文雄

